震災から一週間後に、地域の中学校で発行された学校新聞

平成23年3月18日(金)　大船渡市立第一中学校　学校新聞「希望」

一中生に、声をかけて下さい！

希望

何でもやります

平成23年
3月18日(金)
大船渡市立第一中学校
学校新聞「希望」

生徒会有志

3月11日14時46分に起きた東日本大地震とそれに続いておしよせた大津波により、大船渡市は大変な被害を受け、高田市も壊滅状態になりました。家族が離れ離れで、また見つからない方々を懸命に探しています。

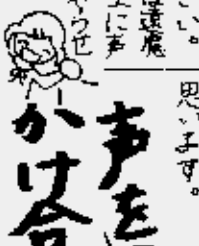
比較的被害の少ない猪川・立根地区では、少しずつ普通の生活を取り戻しつつありますが、赤崎・盛地区などは全く生活の見通しが立たないままでいます。

このような緊急事態の中で私達一中生に何が出来るのか、何をしてあげられるのか考えていきたいです。皆さんと共に力を合わせていきたいと思います。

私達に出来る事はとても限られていますが、水くみ・トイレ掃除・おつかい、何でもします。一中生に声をかけて仕事させて下さい。特にご老人の方は遠慮せず近所の一中生に声をかけ、何でもやらせて下さい。

新聞を読むと内陸の中学生や高校生の生徒さん方が募金活動を始めたようです。テレビを見て、自分達がやらなければいけない気持ちになり、一人ではできないと思ったら皆が協力するといってくれたそうです。私達も、そんな絆で結ばれていけたらと強く思います。

助け合いたい!!
手をさしのべたい!!
そんな私達の思いが皆の希望になればいいと思います。



がんばろう気仙

私たちの大船渡、もっと助け合いがんばって！！　負けずに生存者のをそして、陸前高田は大きな。ボランティアで活動、地域の人のお手伝いなど、私たちにできることがあれば、ぜひ！！

やれることをしていきたい。

私は、気仙、地方が被害をうけました。たくさんの人たちが亡くなりました。

地域のみなさんに協力してがんばりましょう。

今こそ出番だ一中生!!

今、自分たちに何ができるか考えましょう。そこで、分からなければ、ご近所の方にこちらから声をかけて、できることはないか、聞いてみましょう。

例えば、
- 川から水をくむ
- お買い物のおつかい
- にもつはこび
- 灯油はこび
- ひなん所でのおにぎり作りの手伝い

などなど、できることはたくさんあります。

そして、たくさんのことを学び感じましょう。

これからの地域をつくっていくのは、私たちなのだということを忘れずに生活していきましょう。

★一中生で希望を叶えましょう！

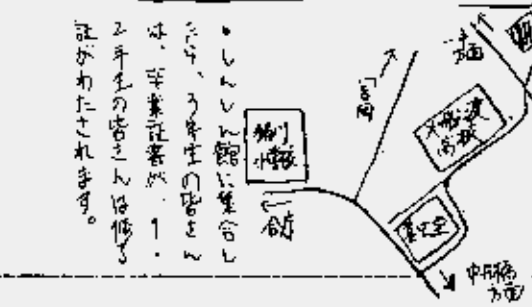
★皆で団結し支え合いましょう！

一中今後の日程

大船渡市立第一中学校の生徒の皆さんは、3月15日まで自宅待機または地域のお手伝いなどをして、過ごして下さい。

・3月16日に3年生の皆さんは午前9時から、1・2年生の皆さんは午後1時から猪川町いちいん館に集合して下さい。

地図は、



・しんしん館に集合したら、3年生の皆さんは、卒業証書が、1・2年生の皆さんは修了証がわたされます。